

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	インテリア基礎	
科目基礎情報							
科目番号	0041			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	0		
教科書/教材	インテリアの基礎がわかる本 (エクスナレッジ)						
担当教員	青木 哲						
到達目標							
以下の項目を目標とする。 ① 模型、三次元図法を用いて、インテリアに関する三次元空間などを表現する ② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる ③ プレゼンテーション能力を養う							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
① 模型、三次元図法を用いて、インテリアに関する三次元空間などを表現する	学習した表現技術について十分に理解し、活用できる。			学習した表現技術について理解し、ほぼ活用できる。		学習した表現技術について理解できず、活用できない。	
② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる	テーマに対応した創造的な優れたデザインを作成できる。			テーマに対応した創造的なデザインを、作成できる。		テーマに対応したデザインを、作成できない。	
③ プレゼンテーション能力を養う	創意工夫を持って丁寧に作業し、非常に美しく分かりやすい作品を作成することができる。			創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる。		創意工夫や丁寧な作業ができず、分かりやすい作品を作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	生活に身近なインテリアを通して、三次元空間を表現することを学ぶ。						
授業の進め方・方法	授業では、課題の作成を通じて表現を学ぶ。第1回から第8回の担当は、辻 (非常勤)、第7回から第15回の担当は青木哲である。 英語導入計画: Technical terms						
注意点	三次元の表現技術を習得するためのトレーニングとして、常に建築・空間・家具等を意識して体験・観察することが重要である。 また、積極的に建築・デザインの雑誌など目を通して感性養うと同時に、表現技術の参考とすること。 課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1～10%を減じた値で評価する。具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる 学習・到達目標: (D-2 情報・論理系) 100%						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	課題の趣旨の説明、造形の基礎 (ALのレベルC)		課題の趣旨、造形の基礎が理解できる		
		2週	道具の使い方、平面から立体へ (ALのレベルC)		道具の使い方を理解し、平面から立体が考えられる		
		3週	建築模型の基礎 (ALのレベルC)		建築模型の基礎を理解できる		
		4週	モデリング 1 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		5週	モデリング 2 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		6週	モデリング 3 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		7週	モデリング 4 (ALのレベルC)		適切な材料を用いてモデリングができる		
		8週	中間のまとめ (作品の講評)		中間のまとめ (作品の講評)		
	2ndQ	9週	色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識 (ALのレベルC)		色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識が理解できる		
		10週	カラーコーディネート課題 1 (ALのレベルC)		カラーコーディネート課題ができる		
		11週	カラーコーディネート課題 2 (ALのレベルC)		カラーコーディネート課題ができる		
		12週	プレゼンテーションボードの作り方 (ALのレベルC)		プレゼンテーションボードが作成できる		
		13週	プレゼンテーションボードの制作 1 (ALのレベルC)		プレゼンテーションボードが作成できる		
		14週	プレゼンテーションボードの制作 2 (ALのレベルC)		プレゼンテーションボードが作成できる		
		15週	プレゼンテーションボードの講評会		プレゼンテーションボードの講評会		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					

		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	環境・設備	表色系について説明できる。	4	
				色彩計画の概念を知っている。	4	
			設計・製図	各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	4	
評価割合						
			課題	合計		
総合評価割合			500	500		
得点			500	500		